



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: https://www.asachu-rc.jp



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

R.I. 会長 シェカール・メータ

地区ガバナー 若林 英博

2021 - 2022 年度テーマ

クラブテーマ 「レポート(再起動)」～新たなるロータリー 100年に向けて～
クラブ会長 上野 雅宏

本日の例会(卓話)

「30分で分かる!結婚相談所の業界&最新お見合いサービス入門」

結婚相談所ブライダルパートナーズ 代表 中島賢太郎氏

今後の例会(卓話)予定

4/27 祭日振替(昭和の日)

5/4 祝日(みどりの日)

5/11 「下町の名建築さんぽ」 OCM設計事務所 代表 大島健二氏

5/18 「大学サッカーからJリーグへの軌跡」

明治大学サッカー部監督 栗田大輔氏

5/25 1700回記念例会(夜間)

2022年4月20日

第1697回例会

会長 上野 雅宏

幹事 常見 英彦



5日結婚記念日

5日(47周年)長沼ご夫妻 ・ 9日(47周年)小林(雅)ご夫妻
10日(11周年)五十嵐ご夫妻 ・ 11日(47周年)原田ご夫妻
11日(35周年)田村ご夫妻 ・ 19日(5周年)立野ご夫妻
28日(58周年)宮村ご夫妻

前回(4/13 1696回例会)の記録

来訪者紹介

◆ゲスト 1名 卓話者 社会福祉法人 台東区社会福祉協議会コーディネーター担当係長 渡辺大輔様
◆ビジター 0名

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
48名	2名	7名	32名	7名	82.05%	1694回例会 欠席7名・出席率82.05%

会長挨拶<上野会長>

・本日は社会福祉協議会の渡辺様による「子ども食堂」にまつわる卓話をしていただきますが、社協という会の性格上、卓話の謝礼はお受け取り頂けないという事です。そこで何とか社協の活動に協力できないかと、先週の理事会で協議した結果、また募金箱を御回しすることになりました。今日の卓話

に対する思いを募金に託していただきたいと思います。後ほど取りまとめてクラブの寄付として社協にお振り込みいたします。もう一点、先週行われた理事会の議事録にも記載されておりましたが、下期に予定しておりました炉辺会合の実施について理事会で検討いたしました。残念ながら中止と決まりました。現在、新型コロナの緊急

事態や蔓延防止措置は宣言されておりましたが、オミクロン株変異型は感染力を増し、毎日数千人単位で陽性者が出ており、収束とするには程遠い状況です。そんな中で飲食を伴う炉辺会合を行う事は、まだまだ危険性が高いという判断です。

これで、私のクラブ会長としてやりたい事

の一つがコロナの露と消えてしまいました。残るは1700回記念夜間例会と慰労会を兼ねての旅行ですが、特に旅行会は、6月の実施日までに何とかコロナが収束し、旅行会が行われることを切に祈っております。また、各委員会におかれましては次年度への引き継ぎをよろしくお願いいたします。

幹事報告<常見幹事>

- ①来週20日の例会会場は4F飛翔の間となりますので、よろしくお願いいたします。
- ②前年度休会分の対応で配布した浅草ビューホテルの利用券は来週20日が利用期限となります。万が一期限までにお使いになる予

定がない場合は浅草ビューホテル岡崎さんにご相談ください。

- ③東京板橋RC、東京小平RCより例会変更の案内が来ております。クラブ事務所にてご確認をお願いいたします。

委員会報告

<丸岡次年度幹事>

- ・第2回被選理事・役員会を本日例会後、浅草ビューホテル4階「駒形の間」にて開催

いたします。

本日ご参加の方は何卒よろしくお願いいたします。

ニコニコボックス

<上野会長、常見幹事>

- ・社会福祉法人 台東区社会福祉協議会コーディネーター担当係長 渡辺大輔様、本日の卓話「子ども食堂の支援から見る地域福祉」どうぞよろしくお願いいたします。



上野会長

渡辺大輔氏

常見幹事

<後上、片岡、太田、斎藤、高木>

- ・東北復興支援継続を！

<江連、原田、伊石、岩戸、伊藤、丸岡、松本、宮村、長沼、中村、佐藤、澤野、園部、内田、上原、渡辺>

- ・本日の卓話「子ども食堂の支援から見る地域福祉」社会福祉法人 台東区社会福祉協議会コーディネーター担当係長 渡辺大輔様、よろしくお願いいたします。

<浜中、本間、五十嵐、松丸、宮崎、中橋>

- ・ロッテ 佐々木朗希投手、史上16人目、最年少「完全試合」達成、おめでとうございます！

<古谷>

- ・大学2年生の授業が今日から始まりました。時間割がうまくいって例会に出席出来ます。例会が終わった後、自宅でリモートの授業を受けます。

「子ども食堂の支援から見る地域福祉」



社会福祉法人
台東区社会福祉協議会コーディネーター担当係長

渡 辺 大 輔 氏

1：社会福祉協議会（社協）とは

社協は昭和38年にホテルニューオータニ創始者である大谷米太郎氏により創設されました。現在は台東区長である服部征夫氏が会長を務めております。社協設置の根拠法律は「社会福祉法109条」です。そして社協の目的は「地域福祉の推進」です。この目的のために地域住民とともに、時代に合わせて公的な制度やサービスだけでは担いきれない福祉に関する事業を強化してきました。

2：地域の福祉課題

日本の福祉施策は主に高齢者・障害者・児童・生活保護の4つの法律を中心にサービス、支援を展開し、発展してきました。社協は公的な支援では支えきれない点を住民と一緒に実施してきました。しかし、少子高齢化、生活、価値の多様化など様々な理由から複合的な福祉課題が表出してきました。平成29年度より、社協ではこのような複合的な福祉課題にも対応できるよう、分野にとらわれない【地域福祉コーディネーター】という担当部署を作り個別支援と地域支援を中心に課題解決に取り組んでいます。

3：相談事例

社協の行う支援の中のひとつが「子ども食堂」との連携です。主に寄付の提供や相談、運営支援、地元住民との連携、参加者の個別支援を行っています。例えばそこで社協は地域の民生委員や食堂スタッフ、他区で子ども食堂や若者支援しているNPOの方を交え、勉強、意見交換を行う会議を開催しています。会議で共有された事例としては①適切な支援（福祉・医療・行政・サービス）につなげていない ②人間関係が構築されていないと拒否する傾向が強いということ。公的な相談機関とは薄くともつながっているので、親子に対し、「こうした方が良い」「この制度を使う」ということは言わず、両者にとって居心地の良い安心できる空間にすること、また、障害特性を理解しようということが共有されています。

4：目指す地域像

子ども食堂は学習、食事だけの支援ではなく、子ども、親の人間関係の維持、もしくは再構築の場として機能している。子どもの支援を通じてスタッフ、ボランティアさんとの関係をもって仕事など社会に参加していくことに繋がっています。特に本人（または世帯）の力を引き出す支援が必要であり、それが人間関係となり、関係性ができている人からの言葉は福祉・医療の専門職とは違う効果があると考えています。

5：まとめ

- ・子ども食堂は子どもの支援だけではない
- ・子ども、親、地域住民、行政、関係機関、企業、学生などすべて関わる人との人間関係の構築の場
- ・一人でも多くの社会的孤立状態から回復できるよう、まちのセーフティネットの役割にもなっている

最後にお願いがあります。地域には子ども食堂以外にも様々な活動をしている団体があります。しかし、活動に苦慮している場合も多いです。スタッフ不足、資金不足、資源不足など。本日、お話を聞いていただいた方の1人でも何か感情に働きかけることができれば、何かできることを一緒に考えていきましょう。